

# 辺野古土砂北九州

発行…2021年4月・No.17



辺野古土砂北九州では、講演会・学習会・映画上映会など様々取り組んでいますが、毎回頭が痛いのが「参加人数がつかめない」ことです。特にコロナ禍では、少なくとも多くても困ります。今回も、とにかく椅子を会場に広げまくり、密にならないように気を付けました。早く密を気にしないでいい生活に戻りたいですね。

## ≪目次≫

- 【講演会報告】新聞記者が見てきた地位協定の現実…………… 2 ページ
- 【エッセイ】波乱の人生から生まれた「自然は宝」知名トシさん(3)…………… 6 ページ
- 世話人会からのインフォメーション…………… 7 ページ

写真提供…八記久美子

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



辺野古土砂北九州主催・講演会

# 新聞記者が見た地位協定の現実

沖縄県宜野湾市出身・毎日新聞社の宮城裕也記者を迎えて

4月10日(土)に行なった「地位協定」の講演会には、80人を超える方の参加がありました。プログラムは、まず、東京の六本木にある「麻布米軍ヘリ基地」のDVD上映。そして宮城記者の講演。最後に、宮城記者と当会顧問の天久泰弁護士(沖縄県宜野湾市出身)お二人で担当していただいた質問コーナーの3部構成でした。DVDがスクリーンになかなか映らないトラブルもありましたが、たくさんの質問や43通の感想が寄せられました。以下、大まかですが当日の内容をまとめました。

## 宮城記者の講演内容

### ■地位協定の原体験

まず、個人的な話を。沖縄国際大学に米軍ヘリが落ちたとき、自分はまだ高校生で、たまたま大学から500m離れた交差点にいた。墜落の軌道がずれていたら、自分が死んでいたかもしれないと思ったのが、初めて基地問題に個人的に直面した瞬間だった。

その後米兵がやってきて規制線を張り、事故機の回収を始めた。まるで交通事故を起こした加害者が、警察や被害者を締め出し、証拠を持ち去る感じで、「これってなに!?!」と思った。これが基地問題を報道する記者になろうと思った原体験。

また帰省した時、昼夜実家の上空を飛ぶオスプレイを見て「おうちに帰りたい」と怖がった息子の様子を見て、自分は基地がある「異常な日常」に慣らされていたのだと思い知らされた。息子は1週間後にはオスプレイに見向きもしなくなった。

日米地位協定では米軍の訓練について規定はなく、基地間の移動として扱われているため、訓練の規制ができない。そのため、普天間基地周辺では夜間早朝の飛行が行われており、「騒音防止協定」は形骸化している。



同じ沖縄県宜野湾市出身の(左)辺野古土砂北九州顧問・天久泰弁護士と、(右)毎日新聞社・宮城裕也記者

### ■三沢基地に見る「日米地位協定」の現実

自分の初任地は青森県だった。三沢は県都・青森市から車で1時間半くらいのところで、市のHPには「約4万人の市民と多くの米軍関係者が過ごす異国情緒の国際都市」と書かれている。2012年度を境に米軍はセキュリティーを理由に、米軍関係者の人数を公表しなくなった。日米地位協定で住民登録の義務がないから、住民サービスを受けているのに、住民税は払っていない。自動車税も県民より割安で、青森県の統計を毎日新聞が試算したところ、米軍登録は5352台。約1億円(15年)の自動車税を払っているが、本来の税率なら約2億2000万円になる。1億円余りの損失。日本全体では14億円の損失(19年)となっている。青森県では18年2月、三沢基地所属の

F16の燃料タンク落下事故があった。エンジントラブルで爆発する危険があるとして、三沢基地隣接の小川原湖にF16の燃料タンクを投棄。そのため湖が燃料で汚染され、約1カ月休漁した。漁協は損失補償9323万円を請求したが、米軍はこれに応じず、漁協が折れる形で、約8割の8540万円で合意した。米軍の言い値がまかり通る結果となった。

### ■私たちの身近な「築城基地」では

2018年日米両政府は、「築城(福岡)」と「新田原(宮崎)」を、米軍機の緊急時の受け入れ先とし、滑走路の延長(築城のみ)をはじめとする、基地の整備を合意した。築城は岩国基地所属機の「第一の緊急着陸先」。自衛隊基地でも米軍機は地位協定適用となり、夜間早朝訓練や低空飛行なども可能になる。地位協定では、平時と有事の区別はない。長く強固な滑走路ができれば、オスプレイなど米軍機の通常の訓練もできる。

### ■基地の中に九州がある!?

自衛隊基地でも米軍機は日米地位協定が適用される。また、岩国所属の艦載機の訓練を、鹿児島県の馬毛島でする問題も進んでいる。日米地位協定「2・4・b」に照らし合わせれば、様々な訓練もできる。九州が米軍訓練や自衛隊との共同訓練の受け皿となる可能性が高まっている。

中国のミサイル能力向上で Guam・ハワイまで射程圏内に。基地の一極集中は脆弱なので、基地機能を九州、沖縄、台湾、フィリピンを含む第1列島線内で分散。沖縄だけでなく九州が重要拠点になるのではないだろうか。注視してほしい。

◀補足▶

●日米地位協定とは…日米地位協定は、在日米軍による施設・区域のあり方や日本における米軍の地位について定めた条約だが、昭和35年(1960年)に日米間で締結されて以来、現在まで一度も改定されていない。この間、米軍人等による様々な事件・事故、米軍

基地に起因する騒音問題や環境問題が発生している。

●17条とは…公務中の在日米軍が起こした事件については、日本が裁判権を有していないため、日本の警察が介入できない。

●2・4・bとは…日米地位協定第2条4項(b)。国等の管理のもとにある施設及び区域を、日米合同委員会の合意により、米軍が一時的に共同使用できることが定められている。

●地位協定ポータルサイト/沖縄県…沖縄県が作成している地位協定ポータルサイト。日米地位協定に関する条文、合意等のほか、他国の地位協定の原文、法令、日本語訳等を掲載している。※地位協定を詳しく知ることができます。



この基地の公式名称は「赤坂プレスセンター」ですが、この基地の撤去運動を進めている皆さんは、ここを「麻布米軍ヘリ基地」と呼んでいます。

この都心の米軍基地は、国会議事堂から南西約3kmの港区六本木7丁目にあります。

この基地には「日米合同委員会」はじめ都内で開かれる各種会議等に出席する米軍高官らに乗せた軍用ヘリが、横田(空)、座間(陸)、横須賀(海)の米三軍司令部か



ら毎日のように飛来します。降り立った彼らは送迎車で数 km 地点の米大使館、米軍専用ホテル、日本政府官庁街などに向かいます。

とりわけ「日米合同委員会」が開催される隔週木曜日は、ヘリの離発着回数が多く、国内外で軍事的緊張が高まった場合などは早朝・夜間にも飛来することもあります。

また基地内の星条旗新聞社には、日本国内の情報収集や分析を専門とする「第500軍事情報旅団」が置かれており、他にも軍事応用可能な研究をしている学者・研究者を調査し、助成金を提供して米軍に役立つ研究をさせるための三軍の各事務所も置かれています。

このように都心での米軍の活動拠点にされているのがこの基地です。

この基地を見るとき、いまだに日本は米軍に半占領されているという驚くべき現実をイヤでも突きつけられます。

※「麻布米軍ヘリ基地」の記事は、会報の2020年7月号・No.8の【シリーズ・日本の基地】に掲載しています。

感想をありがとうございました。紙面の関係で一部ご紹介します。



#### ■Nさん

実際の記者の話は良かった。九州が国防の最前線になろうとしている事に、今後注目する。

#### ■Nさん

多様なトーク、充実した内容で良く学びました。地位協定改定、せめてイタリアと同等にさせるためにも、総選挙で野党が政権を取れば・・・!!

#### ■Hさん

初めてきく話がいくつかありました。六本木のヘリポート、基地交付金が出来高払い等々。日本はいまだに占領下なんですね。私たちの年代にとっては、九大にジェット機がつい落したことの方が沖国大よりリアルですが、あのころよりずっとひどい状況になっているのかと思います。

#### ■Yさん

辺野古基地の中に英語で書かれた看板があって、「あれは何と書いているのか？」と問うと「戦利品は還さない」と書いているとの事。この話は有名な老女性作家が述べたことばです。アメリカ人は「戦争に負けた国」として、100年でも1000年でも戦勝国意識を持ち続けるだろう。不甲斐ないことに、日本政府と自民党・公明党はただの一度もこの問題を正面から抗議し解決しようとしたことがない。それが出来る政府に変えていかねばならない。野党連合政府をつくり、日米安保条約を廃棄しなければならない。この時注意しなければならないのは「日本会議」と「自衛隊」の動向だ。ミャンマーの国軍の様にならないためにも、国民の支持をしっかりと取り付けることが大事だ。

#### ■Sさん

日米地位協定が、翁長前知事の言われたとおり、「日本国憲法の上に日米地位協定がある」。その言葉がはっきりとわかりました！

#### ■Tさん

東京に横田基地があることは知っていましたが、六本木にあることは知りませんでした。また、三沢に基地があることは知っていましたが、小さな市に多くの米国人が住んでいることも知りませんでした。私が子どものころは、福岡市海の中道に米軍基地があり、家の近くには、「子どもの家」という施設があり、親がいなかったり養育できない子どもたちが暮らしていました。その中に、アメリカ兵とのハーフの子どももいました。み

んな皮フの黒い子どもたちでした。私は、この中の一人、女クラスメイトで転校生だった私にやさしくしてもらい、この人が好きでした。今どうしているのだろうか？と時々思い出します。基地は悲劇を生みます。沖縄を含む日本の領土をアメリカの勝手にさせたくないと思います。今日のお話は、クラブメンバーに伝えたいと思います。

#### ■Tさん

昔は安保反対のスローガンがあった。今、立憲民主でも「安保」を継承すると言っている。安保がなくなると、地位協定もなくなるのに。社民党は安保も原発も NO。

#### ■Yさん

DVD…「米軍東京キャンプ駐留問題」はよかった。講演…宮城記者の個人体験から出発して、日米安保条約の問題点を、青森三沢基地の税金問題の徴収を切り口として、日米のあつかいの違いを指摘した。築城基地の問題も普天間との連動性がある。岩国基地との連動性もある。鹿屋とも一体化がある。日米地位協定2条4項Bの問題点は重要なことと思う。基地と日米安保の実態を報道した宮城記者の講演は、非常に重いと思う。宮城記者と天久弁護士との集会参加者との対話もよかった。

#### ■Uさん

関東地方の横田・厚木・座間・立川での米軍基地はたびたび耳にしていたが、(都心のド真中の)「六本木」にもヘリポートがあるとは。東京都民の心ある人たちとも連帯ができるのでは・・・と思う。

「基地の中に沖縄がある」とはよく言われてきたが、今や「基地の中に九州が・・・」という変化や沖縄からの分散化について学ぶことができた。どこであっても米軍基地は要らない。平和にとって不要なものだ。宮城記者さん、有難うございました。

#### ■Mさん

沖縄基地反対の闘いには参加していま

したが、私が住んでいる九州が国防の最前線になると聞き、まわりの人達に知らせて反対運動で頑張らなくてはと思いました。日本全体が基地化して、アメリカの云いなりになって戦争をする国になるのではと、不安になります。戦争は絶対に反対です。

#### ■Kさん

日米地位協定のおかしさは、わかっているつもりでいたが、米軍は支払わなければならない税金・入港料・着陸料などをふみ倒していることがわかりました。九州が日米同盟の最前線になりつつある、なっていることが、よくわかりました。きっとアメリカ軍は日本を占領していると思っているのでしょうね。私たち一人ひとりが、そのおかしさに気づき声をあげていかなければいけませんね。

#### ■Yさん

密約でなく、国会の討論で公開し、説明すべき。六本木のみならず、全ての米軍基地はいらない！ 安保条約解約すべき。戦争をしない、させないことは政治家の仕事。中米対立を利用する米軍、自公、米国軍事産業、許せませんな！

#### ■Sさん

「日米地位協定」について、知れば知るほど怒りが湧いてきます。もっと勉強が必要です。「自衛隊と米軍の一体化」についても今後注視が必要ですね。

#### ■Iさん

六本木ヘリ基地の報告はとても驚きました。日本各地の基地については存在は理解していましたが、東京のド真中の街中に権力をもった米軍基地が存在することを教わることが出来たことが本日の大収穫です。有難うございました。又、各地の基地の問題を分かりやすく事例を挙げて下さったことも有難く思いました。最後に日米合意議事録ではまったく日本を無視しています。

## 浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.17

### 波乱の人生から生まれた「自然は宝」…知名トシさん(3)

ハリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



数え 14 歳で和歌山の紡績工場に働きに行ったトシさん(1912 年生まれ)は、伸び伸びとした山の暮らしからいきなり工場生活に入ったので、最初はとても辛かったという。トシさんは、連載⑪⑬⑭で取り上げた大浦の宮里弘子さんより 7 歳ほど年下なので、出稼ぎ先の労働条件やウチナーンチュに対する差別は、幾分かはましになっていただろうか…？

最初の契約が 3 年だったので、トシさんは一生懸命働いて給料をコツコツ貯め、家に送金した。3 年の満期が来ると仕事を辞めていったん帰郷したが、それから間もなく一家は山を下りて汀間に住むようになった。化学染料の普及で藍が売れなくなったため、山で藍栽培をしていた人たちは 1 軒、また 1 軒と、生活にも不便な山を下りて、各地に散っていったという。

トシさんはその後も 2 回ほど、別の紡績会社に行ったが、23 歳のとき、結婚のためシマに呼び戻される。親同士が結婚を決め、夫になる人の親から「結婚させるので帰してほしい」という手紙が会社に届いたのだ。夫は大川(大浦の隣集落)の人で、トシさんより 1 歳年下だった。

結婚後、トシさん夫婦は兵庫県尼崎に移住し、夫は鉄工所で、トシさんは、生まれた子どもを親戚の人に預けて製紙工場働いた。関西には、大川や汀間の人たちも含めウチナーンチュがたくさん住んでいた。そうこうしているうちに夫が日中戦争に召集されたため、トシさんは息子を連れて帰郷。しかし、落ち着くところがなく、親戚の家を転々としている間に、子どもは病気で亡くなってしまった。

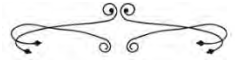
夫の復員後、夫婦は汀間に家建て、田畑を借りて農業した。夫は馬の扱いがうま

くて人々に頼られ、2 人の子どもも生まれて平穏な暮らしが戻ったかに見えたが、それは沖縄戦で潰れてしまった。夫は再び召集され、伊江島で戦死した。31 歳だった。

32 歳で夫を亡くしたトシさんは戦後、農業をしながら女手一つで子どもたちを育てた。人一倍働いて田んぼや畑を次々と増やし、妬まれるほどだったというが、51 歳の時、再び尼崎に渡る。1972 年、沖縄の「日本復帰」の年に帰郷するまでの約 10 年間、沖縄出身者がやっているホルモン屋で働いた。それまで捨てられていた豚のチブル(頭)とワタ(内臓)を無料でもらってきて、きれいに洗って調理する。初めは敬遠していた大阪の人たちの間でも美味しいと評判になり、店は大繁盛した。「食べられないのは鳴き声だけ」と言われる沖縄の豚食文化が功を奏したのだ。大阪のウチナーンチュが始めた「ホルモン」は、その後、大阪名物として現在に引き継がれている。

町の生活も長かったトシさんだが、「町ヤデーゾー、ヌーンネーラン(町はたいへんだよ、何も無いから)」と言う。「食べ物も薬も全部自然から来る」「自然は宝」という彼女の口癖は、子ども時代の山での暮らしや、戦時中の避難生活の中で、いろいろな薬草を煎じてマラリアや皮膚病を治した経験に裏打ちされていた。戦争や権力者を嫌うのも、夫を奪われ、平穏な暮らしを奪われた体験から来る切実な思いだった。基地建設や人間の欲望のために自然を食いつぶすことは「絶対反対」というトシさんの遺志を改めて肝に銘じ、しっかりと引き継いでいきたい。

(うらしまえつこ)



## 《賛同します…送りました》

●「辺野古土砂北九州」では、「平和をつくり出す宗教者ネット」の【辺野古新基地建設の、沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回】の呼びかけに賛同する用紙をお配りしていますが、この1か月の間に、3人の方（世話人経由）と6人の方（宮城記者講演会）から、賛同の用紙をお預かりしましたので、「宗教者ネット」の事務局に送りました。また、直接提出された方もたくさんおられると思います。ご協力、ありがとうございます。

## 《今年の土砂全協の総会は北九州で》

●例年5月に開催される「土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)」の総会ですが、今年は北九州で開催されます。開催と言っても、このコロナ禍ですので、全国から集まって…ではなく、北九州の会場と全国をネットをつないだ総会になります。良かったら、zoom や会場(定員20人)で、総会に参加しませんか。

\*日時…2021年5月30日(日)13時～

\*場所…男女共同参画センター「ムーブ」5階・小セミナールーム

\*「zoom参加」の申し込み先は、【kanpanerura888k@gmail.com】です。

メールの件名に「総会 zoom 参加希望」と、お書きください。「招待」は、5月28日(金)に送信します。

## 《7月の平和のための戦争展に参加》

●7月10日(土)～11日(日)で開催される、「第26回・北九州平和のための戦争展」に、今年も参加します。昨年はコロナ禍で取り組みは中止となりましたが、当会は18年・19年に続く3回目の参加となります。世話人会では、今年は今手元にあるいろいろなDVDの上映をしようか…と話し合っているところです。これも会報の6月号で、詳しくご紹介します。場所は、黒崎コムシティ内の生涯学習センターです。

## 《街頭宣伝にご参加ください》

●当会では、毎月第4土曜日の16時～17時頃まで、小倉駅前で街頭宣伝をしています。プラカードや写真を持っただけだと助かります。よろしくお願ひします。

※8月はあまりにも暑いので、毎年街頭宣伝はお休みしています。



## 《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 4月24日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時
- 5月05日(水)…《第9回世話人会》14時～ zoomにて
- 5月19日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 5月22日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

### 編・集・後・記

以前会報に原稿を書いていた、「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」の藤井幸子さんから、「NHK 沖縄で放送された『宮古・石垣 自衛隊”ミサイル部隊”配備は今』が NHK 総合で再放送されるので、ぜひ視聴を」と言うメールをいただいた。

さっそくビデオの予約をし、後日それを見た。紙面の関係で内容の紹介は省くが、このなかで、胸に沁みる部分があった。旧防衛庁元長官官房長の柳澤協二さんの「戦争のもとになっている争いが何なのか、切り込んでいく政治・外交の努力、何とか武力を行使しなくても解決できるような方策を探っていく。これが軍事的な防衛と同程度以上に大事なこと…」と語った所だ。

調べてみると、柳澤さんは「戦争は『自然災害』ではないのだから、人命を犠牲にする戦争は避け、話し合いで平和を実現することこそ、お互いの国にとって利益になることをわかってもらえない」とも話されている。私もいつも人には「平和は、戦争ではなく外交の力で…」と言っているが、柳澤さんの話を聞いていると、体の中に力が湧いてくるのがわかる。柳澤さんの言葉には、力と重みがある。

辺野古の運動を通して、素晴らしい人や本に数多く出合ってきたが、今回もそんな出会いの一つとなった。ネットで注文した本、早く届かないかな…。(y)

### 《辺野古土砂北九州の口座》

- 【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911  
【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911  
加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」  
【お問い合わせ】 大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。  
※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。  
※振込による入金につきましては、特にお申し出のない限り、  
領収書の発行は省略させていただいています。



### 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方  
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608  
kanpanerura888k@gmail.com (20年9月からアドレス変更)